



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月27日

上場会社名 株式会社トーマンデバイス 上場取引所 東
 コード番号 2737 URL <https://www.tomendevices.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妻木 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 英記 TEL 03-3536-9150
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 222,153 | 2.0 | 7,361 | 24.7 | 3,607 | △31.0 | 2,724 | △29.2 |
| 2022年3月期第2四半期 | 217,862 | 44.3 | 5,902 | 262.9 | 5,229 | 222.9 | 3,848 | 228.2 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,972百万円 (19.4%) 2022年3月期第2四半期 4,163百万円 (315.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 400.58 | - |
| 2022年3月期第2四半期 | 565.85 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 174,470 | 42,296 | 23.7 | 6,070.19 |
| 2022年3月期 | 116,990 | 39,364 | 33.0 | 5,673.96 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 41,283百万円 2022年3月期 38,589百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | - | 0.00 | - | 300.00 | 300.00 |
| 2023年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2023年3月期（予想） | - | - | - | 300.00 | 300.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 440,000 | △4.9 | 7,700 | △27.6 | 7,000 | △17.4 | 5,500 | △13.8 | 808.69 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期2Q | 6,802,000株 | 2022年3月期 | 6,802,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 963株 | 2022年3月期 | 935株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期2Q | 6,801,047株 | 2022年3月期2Q | 6,801,203株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |
| 3. 補足情報 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、資源高や円安の影響から物価上昇による家計負担への増加、夏場には全国的にコロナ感染が再拡大するなど、個人消費の回復は緩やかな伸びとなりました。世界経済においても、中国における都市封鎖や夏場の電力不足によるサプライチェーンの混乱が長期化するなど、先行き不透明感が継続しております。

エレクトロニクス業界におきましては、データセンター向けサーバー・ストレージ需要が堅調に推移したものの、テレビ、PC等の消費者向け需要に一服感があり、世界的にスマートフォン需要にも減速感が見られるなど、一部の半導体製品で在庫が積み上がり、製品の販売不振による部品調達調整や在庫消化の動きが広がっております。

このような状況下、当社グループは、PC向けDRAM、スマートフォン向けMCPおよび高精細カメラ用CIS（CMOSイメージセンサー）、テレビ・モニター向け液晶パネルおよびスマートフォン向けOLED等のディスプレイ製品の売上が減少したものの、データセンターストレージ向けNAND FLASH製品、国内においては、SiP（システム・イン・パッケージ）ビジネスおよびファウンドリービジネス等の売上が拡大し、円安基調もあり、売上高は2,221億53百万円（前年同期比2.0%増）となりました。また、為替相場の影響から、売上総利益が増益となったこと、価格下落の環境のなか一定の利益を確保したこと等により、営業利益は73億61百万円（同24.7%増）、経常利益は36億7百万円（同31.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億24百万円（同29.2%減）となりました。

なお、品目別の実績については、7ページの「3. 補足情報（品目別販売実績）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は1,744億70百万円（前連結会計年度末比49.1%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金と商品が増加したことによるものです。

負債は1,321億73百万円（同70.3%増）となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は422億96百万円（同7.4%増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払、為替換算調整勘定の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年4月26日に発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,713 | 8,624 |
| 受取手形及び売掛金 | 58,507 | 78,309 |
| 電子記録債権 | 7,093 | 1,677 |
| 商品 | 40,163 | 79,010 |
| 前渡金 | 208 | 3,374 |
| 預け金 | 1,503 | 588 |
| その他 | 808 | 563 |
| 流動資産合計 | 114,998 | 172,148 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 399 | 443 |
| 無形固定資産 | 82 | 61 |
| 投資その他の資産 | 1,509 | 1,816 |
| 固定資産合計 | 1,991 | 2,321 |
| 資産合計 | 116,990 | 174,470 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 47,884 | 48,588 |
| 短期借入金 | 9,500 | 64,777 |
| 未払法人税等 | 1,249 | 1,199 |
| 前受金 | 425 | 2,249 |
| 賞与引当金 | 330 | 132 |
| 未払金 | 14,981 | 9,850 |
| その他 | 2,722 | 4,835 |
| 流動負債合計 | 77,094 | 131,632 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 490 | 500 |
| 繰延税金負債 | 0 | 0 |
| その他 | 40 | 40 |
| 固定負債合計 | 531 | 541 |
| 負債合計 | 77,625 | 132,173 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,054 | 2,054 |
| 利益剰余金 | 34,786 | 35,470 |
| 自己株式 | △2 | △2 |
| 株主資本合計 | 36,838 | 37,521 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 177 | 182 |
| 繰延ヘッジ損益 | △237 | △965 |
| 為替換算調整勘定 | 1,810 | 4,545 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,750 | 3,761 |
| 非支配株主持分 | 775 | 1,013 |
| 純資産合計 | 39,364 | 42,296 |
| 負債純資産合計 | 116,990 | 174,470 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 217,862 | 222,153 |
| 売上原価 | 210,400 | 213,111 |
| 売上総利益 | 7,462 | 9,042 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,560 | 1,680 |
| 営業利益 | 5,902 | 7,361 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 1 |
| 受取配当金 | 9 | 17 |
| 持分法による投資利益 | 11 | — |
| その他 | 26 | 15 |
| 営業外収益合計 | 48 | 34 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 42 | 340 |
| 債権売却損 | 293 | 115 |
| 為替差損 | 372 | 3,313 |
| 持分法による投資損失 | — | 0 |
| その他 | 12 | 18 |
| 営業外費用合計 | 721 | 3,789 |
| 経常利益 | 5,229 | 3,607 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,229 | 3,607 |
| 法人税等 | 1,282 | 788 |
| 四半期純利益 | 3,947 | 2,818 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 99 | 93 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,848 | 2,724 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 3,947 | 2,818 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9 | 4 |
| 繰延ヘッジ損益 | 45 | △728 |
| 為替換算調整勘定 | 160 | 2,878 |
| その他の包括利益合計 | 216 | 2,154 |
| 四半期包括利益 | 4,163 | 4,972 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,057 | 4,735 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 106 | 237 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(品目別販売実績)

| 品目別 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | | 増減率 (%) | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | |
|---------|---|------------|---|------------|------------|--|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| メモリー | 153,771 | 70.6 | 174,091 | 78.4 | 13.2 | 338,953 | 73.2 |
| システムLSI | 51,289 | 23.5 | 35,838 | 16.1 | △30.1 | 97,323 | 21.0 |
| 半導体小計 | 205,060 | 94.1 | 209,929 | 94.5 | 2.4 | 436,276 | 94.2 |
| ディスプレイ | 7,105 | 3.3 | 4,774 | 2.1 | △32.8 | 14,673 | 3.2 |
| その他 | 5,697 | 2.6 | 7,450 | 3.4 | 30.8 | 11,873 | 2.6 |
| 合計 | 217,862 | 100.0 | 222,153 | 100.0 | 2.0 | 462,822 | 100.0 |

(メモリー)

PC向けにDRAMおよびNAND FLASH製品の売上が減少したこと、スマートフォン向けMCPの売上が減少したものの、データセンターストレージ向けにNAND FLASH製品の売上が拡大したことから、この分野の売上高は1,740億91百万円(前年同期比13.2%増)となりました。

(システムLSI)

国内市場において、SiPビジネスおよびファウンドリービジネスの売上が拡大したものの、中国市場において、スマートフォン向け高画素CISの売上が減少したことから、この分野の売上高は358億38百万円(同30.1%減)となりました。

(ディスプレイ)

テレビ・モニター向け液晶パネルおよびスマートフォン向けOLEDともに売上が減少したことから、この分野の売上高は47億74百万円(同32.8%減)となりました。

(その他)

国内市場において、工作機等向けバッテリー等の売上が減少したものの、海外市場向けに、テレビ向けバックライト用LEDの売上が伸びたことから、この分野の売上高は74億50百万円(同30.8%増)となりました。

(ご参考)

「メモリー」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

DRAM、NAND FLASH、MCP(マルチチップ・パッケージ)、SSD(ソリッドステートドライブ)等

「システムLSI」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

SoC(システム・オン・チップ)、DDI(ディスプレイドライバーIC)、CIS(CMOSイメージセンサー)、

PMIC(パワーマネージメントIC)、SiP(システム・イン・パッケージ)等

「ディスプレイ」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LCD(液晶パネル)、有機EL等

「その他」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LED、MLCC(積層セラミックコンデンサ)、バッテリー、設備等